

案件化調査 インド国、インドネシア国 災害用浄水器レスキューアクアシリーズの受容性に関する 案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業：株式会社トヨタプロダクツ
- 提案企業所在地：群馬県桐生市
- サイト・C/P機関：インド：National Disaster Response Force(NDRF)（ニューデリー）
- インドネシア：Badan Nasional Penanggulangan Bencana(BNPB)（ジャカルタ）

インド、インドネシアの開発課題

- 近年地震や津波など数多くの自然災害が起きており、災害時における水の確保・供給が課題となっている。
- 災害時では様々な水資源を活用する。そのため、どのような原水にも対応でき、かつ簡便な操作で安心・安全な水を供給できる浄水器へのニーズが高い。

中小企業の技術・製品

- 提案企業は、RO膜を採用した災害用浄水器“レスキューアクアシリーズ”を有し、これまで国内外の政府機関などで採用が進んでいる。
- 今回持参した911型は、「軽量・コンパクトサイズ、手動での操作、高い携行性」などの特長を有し、これまでにない災害用浄水器である。

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- C/Pをはじめ防災・災害活動を担当する行政機関やNGOにレスキューアクアシリーズを導入し、災害現場における水の確保・給水に向けて、当該製品の実証・効果を行う。
- レスキューアクアシリーズを導入するだけでなく、これまで得てきた水処理技術や衛生管理などに関する情報を可能な範囲で提供することで、両国における災害に強い国づくりに貢献できる期待している。

日本の中小企業のビジネス展開

- 民間提案型普及・実証事業などのODAプログラムを利用することで、インド・インドネシアでのビジネス展開の足掛かりとする。